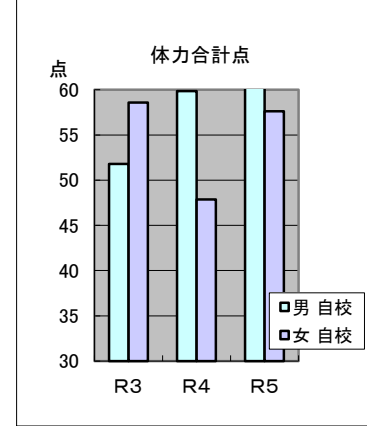
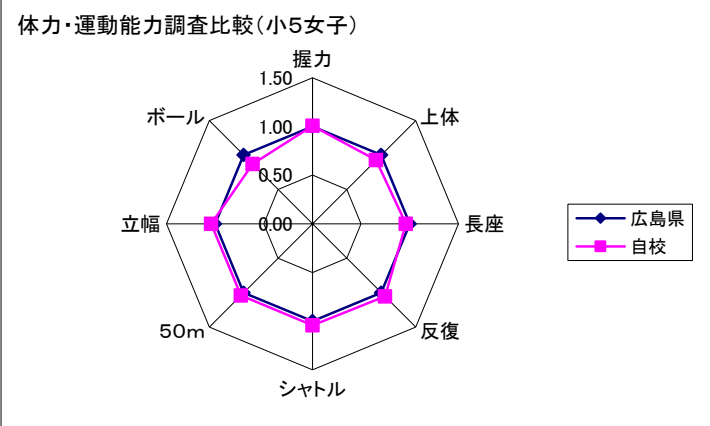
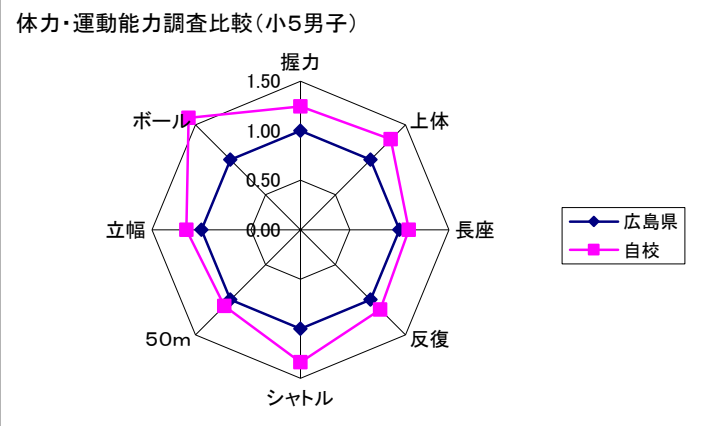


男子の体力合計点 学校 66.9点 県平均 54.16点

女子の体力合計点 学校 57.6点 県平均 56.22点



R5体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析

① 50m走(呉市の課題種目)  
 ・県平均及び全国平均の記録を上回っている児童の割合が75%であった。(男子:100% 女子:55%)  
 ・5年生女子は、平均で全国、県、呉市を上回っているものの個人差が大きい。これは、外遊びを多くする児童とそうでない児童に大きく差がある。また、走り方の技法について正しい理解と実践ができていない児童も多い。

② 立ち幅跳び(中学校区の課題種目)  
 ・県平均及び全国平均の記録を上回っている児童の割合が75%であった。女子に課題が見られる。  
 ・腕振りが正しくできていない、腕を振るタイミングと跳躍のタイミングが合っていない、跳躍時の姿勢が悪い、全体的に筋力が不足しているなど、要因としては様々である。

③ 握力(自校の課題種目)  
 ・県平均の記録を上回っている児童の割合が69%で、男子は全員県平均、全国平均を上回っていた。  
 ・外遊びの経験や日常的に握力を用いる運動、動作が減少していることも考えられる。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

① 呉市の課題種目 ( 50m走 )	具体的な取組内容 ・大休憩、昼休憩での外遊びの推奨や、各クラスへの鬼遊びの啓発を行う。 ・立った姿勢からだけでなくいろいろな姿勢から素早く走る運動を行う。 ・くれチャレンジマッチスタジアムのダッシュリレーなどにクラスごとに取り組む。
具体的な数値目標 (男子0.5秒, 女子0.5秒)	
② 中学校区の課題種目 ( 立ち幅跳び )	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・小中で連携し、全学年で児童生徒の発達段階や個人の能力を考慮しながら、体育科の授業開始時に瞬発力(筋パワー)を鍛えるジャンプトレーニングを実施する。 ・「走・跳の運動」单元の中で、しゃがんだ状態からジャンプを繰り返すジャンプスクワットなどの下半身の筋肉を鍛えるための運動を行う。
具体的な数値目標 (男子10cm, 女子10cm)	
③ 自校の課題種目 ( 握力 )	具体的な取組内容 ・保健委員会主催で握力測定会を企画、実施する。(学年毎に決められた握力測定日までに、握力アップの自主練習に取り組み、握力測定会で取組の成果として記録を取る。) ・正しい握力の測定方法の動画を作成し、握力測定前にポイントを押さえて測定する。 ・毎日、朝の会で「グーパー運動」に取り組んだり、体育の授業内でのサーキットトレーニングを実施する。
具体的な数値目標 (男子2.0kg, 女子2.0kg)	

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)